

IV 学校研究

1 研究主題・仮説

「深い学び」を可能にするよきっ子を目指して
～自分の考えをもち、学びの **I**dobata **C**ross **T**alk を通して～

研究仮説

ICT を活用して自分の考えをもち、その考えをもとに情報や思考を視覚化・焦点化・共有化して話し合うことで、深い学びを可能にすることができるであろう。

2 研究主題設定の理由

本校は、これまで情報に対応できる力の育成を目指してきた。どの学年も、当たり前のようにPCを操作できるようになってきた。また、学習リーダーを育成することで、学習者全体が自分事として学ぼうとする意欲が高まり、主体性が育ってきた。

そこで、今年度はさらに質の高い学び合いを目指すために、自分の考えをもつことを大切に、それらを表現できる力を育成することで、対話的で深い学びを可能にすることを目指したい。

3 研究の内容

(1) 付けたい資質・能力 【情報活用能力】

	低学年	中学年	高学年
情報活用能力	<ul style="list-style-type: none">課題解決のために必要な情報を収集する力今までの体験や経験とつなげて考える力操作する力	<ul style="list-style-type: none">目的に応じて情報を収集・整理・表現する力今までの体験や経験と比較しながら考える力操作する力	<ul style="list-style-type: none">必要な情報を収集・活用・整理・表現・発信する力今までの体験や経験と比較し、試行錯誤して考え、改善する力

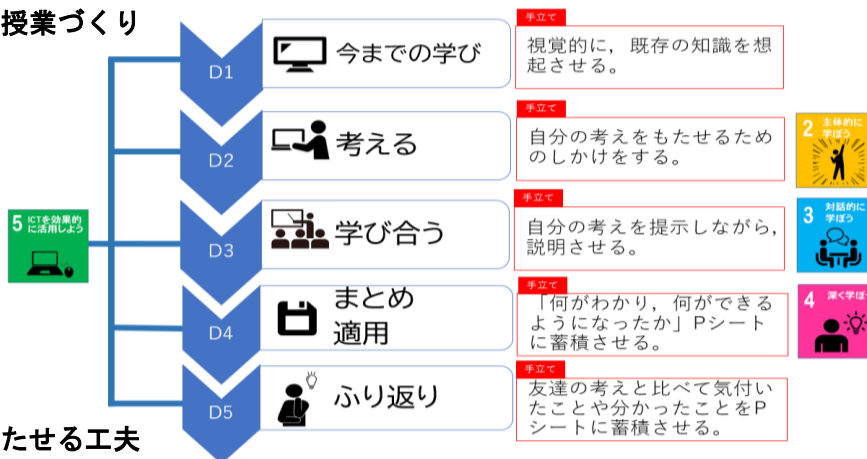
(2) 研究の重点

- OD5 スタイルの実践
- OD シートの工夫
- 対話の活性化

4 研究の実践

(1) 学びの力を高める授業づくり

①D5 スタイル



②自分の考えをもたせる工夫

デジタル教科書を活用したり、デジタルワークシートを開発したりして、試行錯誤しながら、必ず「自分の考え」をもたせる工夫をする。

③対話を活性化させるための工夫

「自分の考え」をもった上で、それらを提示しながら分かりやすく説明したり，途中で分からなくなっても最後まで言い切ったりするように教師は見守る。

また，自分の考えをもった児童からペアチャットを開始し，時間になったら全体で学び合う。その際に，問い返しをしたり，つぶやいたり（5秒 Tweet）させるようにする。

教師は，「見方・考え方」を明確にした上で，切り返しや問い返しをし，児童の思考が深まるようにする。

（2）学力・学習を支える基盤づくり

①学び合う力

- ・最後まで言い切ろうとする姿勢の定着
- ・5秒 tweet の強化週間
- ・提示したり，指し示したり，操作したりしながら説明する伝え方

②書く力

- ・条件作文タイムの実践
- ・読み解き新聞

③学習習慣・生活習慣の定着

- ・「学習・生活習慣チェック表」の実施・集計・検証
- ・PCでの自学

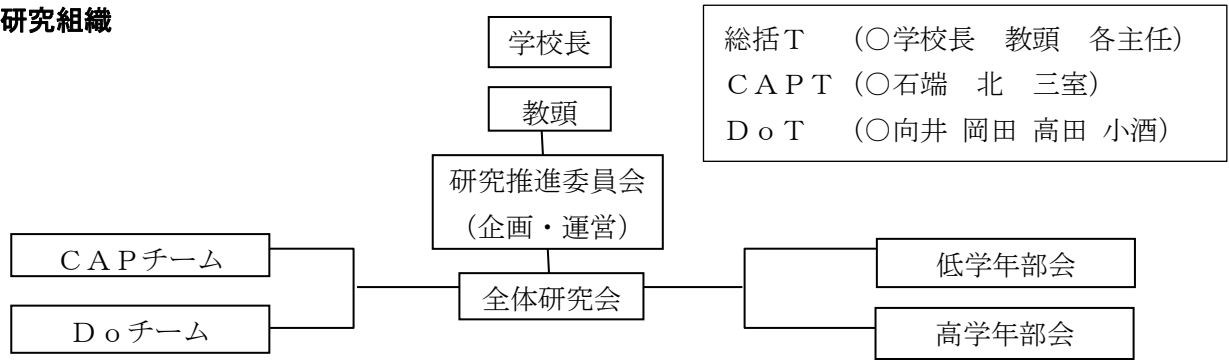
（3）体制づくり

- ・一人一回以上の研究授業
- ・相互参観週間（視点を絞った効果的な参観）
- ・学力向上ロードマップの活用
- ・学力調査の結果分析と手立ての共通理解，共通実践
- ・OJT研修，若手教員の育成
- ・保護者・地域との連携

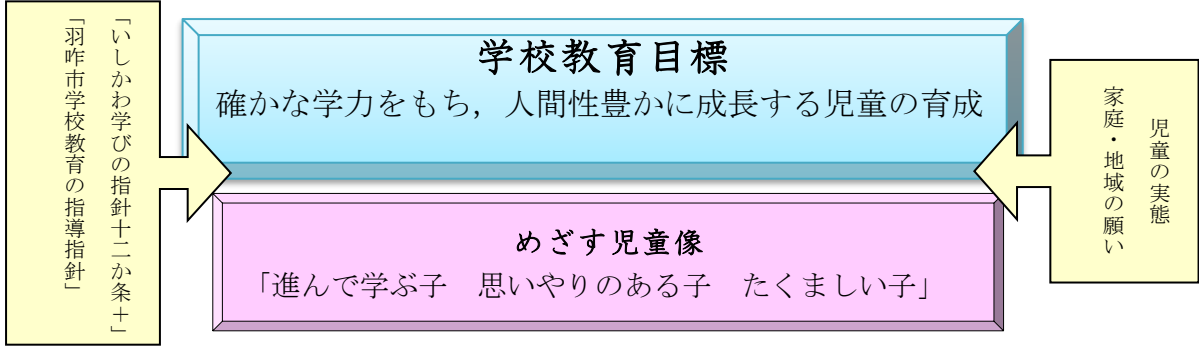
5 検証方法

- ・学力調査・県評価問題・校内学力テストの結果分析・比較
- ・授業・スキルアップタイムの発言・ふり返りによる児童の変容
- ・学習アンケートの集計・分析
- ・ビデオ検証
- ・相互参観
- ・授業研究

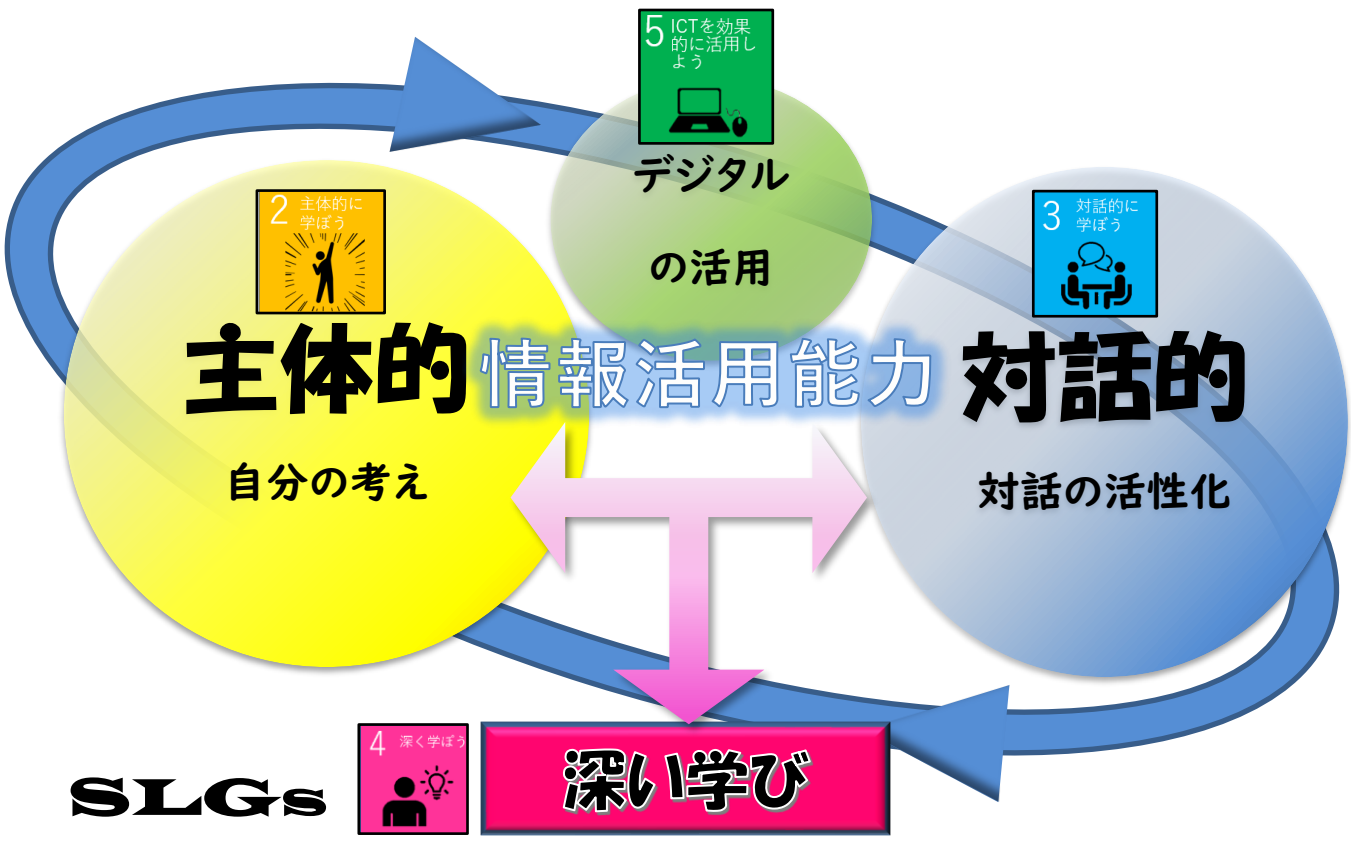
6 研究組織



7 研究構想図



研究主題 「深い学び」を可能にするよきっ子を目指して
 ～自分の考えをもち、学びのIdobata Cross Talkを通して～
仮説 ICTを活用して自分の考えをもち、その考えをもとに情報や思考を視覚化・焦点化・共有化して話し合うことで、深い学びを可能にすることができるであろう。



S (sustainable) L(learning)Gs(goals) 「持続可能な学びの目標」